

学習指導要領（抄）（小学校・中学校平成29年3月告示 高等学校平成30年3月告示）

前文

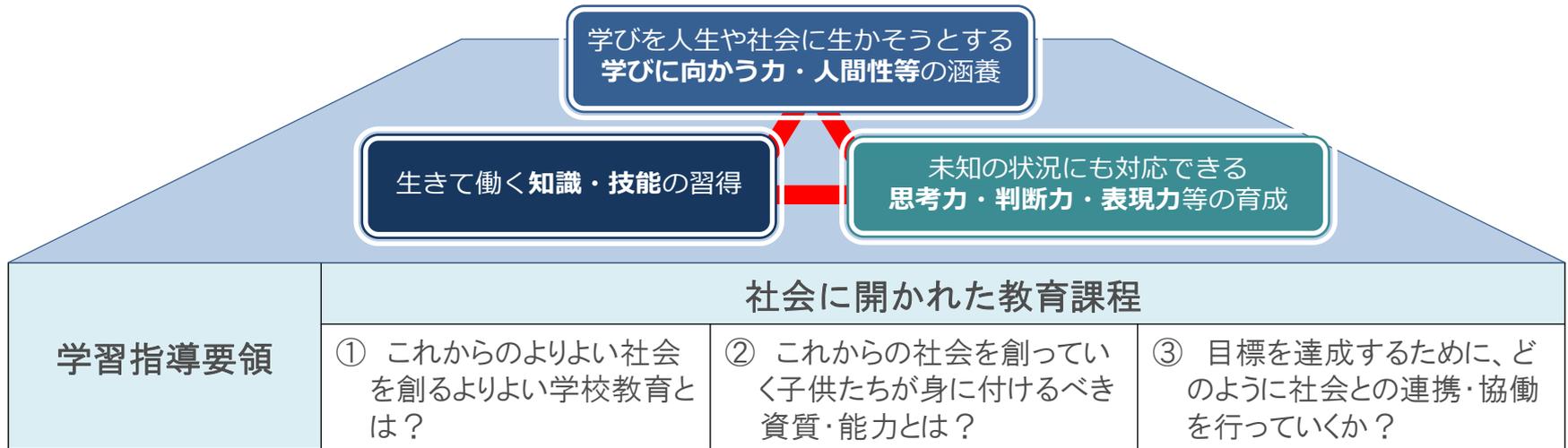
（前略）

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、**社会に開かれた教育課程**の実現が重要となる。

（中略）

児童（生徒）が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、様々な立場から児童（生徒）や学校に関わる**全ての大人**に期待される役割である。

「社会に開かれた教育課程」の実現と「地域と学校の連携・協働」



情報の共有

基本方針の承認

熟議の実施

地域学校協働活動の実施



学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進

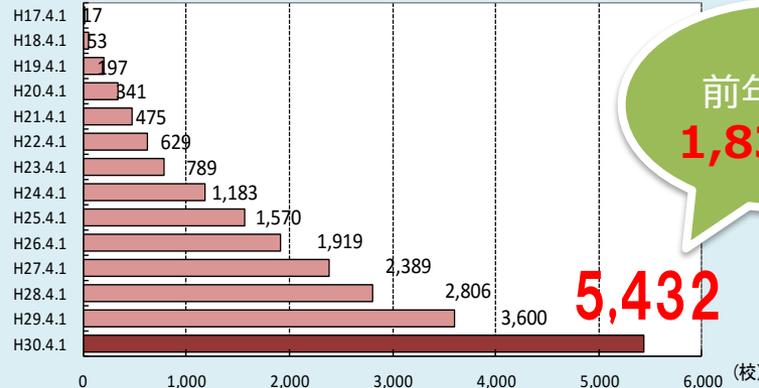
コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入状況【学校数】

学校運営協議会を設置している学校数

46都道府県内 **5,432校** (平成30年4月1日現在)

(幼稚園147、小学校3,265、中学校1,492、義務教育学校39、中等教育学校1、高等学校382、特別支援学校106)

全国の学校のうち、**14.7%**がコミュニティ・スクールを導入



(出典) 文部科学省コミュニティ・スクール導入状況調査(平成30年4月1日現在)

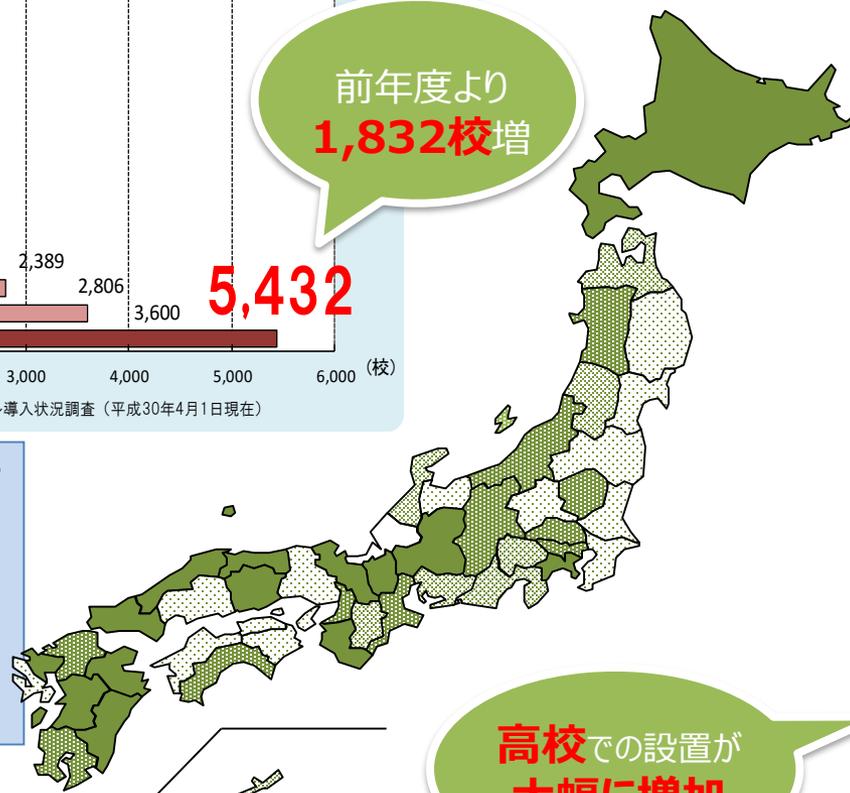
前年度より
1,832校増

5,432

学校運営協議会を設置している学校の割合

【設置率】※

- 20%以上 ●●●●●
- 10%以上20%未満 ●●●●
- 5%以上10%未満 ●●●
- 5%未満 ●●
- 設置なし ○

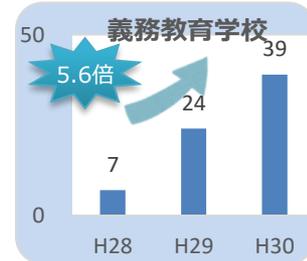
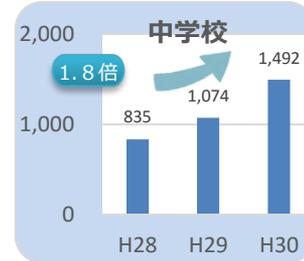
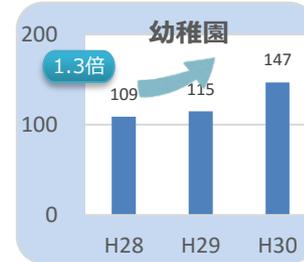


※沖縄県は地図を拡大しています。

高校での設置が
大幅に増加

◆校種別の設置状況(3年経過)

※倍数はH28とH30の比較



※中等教育学校を含む

※母数は平成30年4月1日調査で、各教育委員会から報告があった学校数。

※詳細はパンフレットにも記載しています。

「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

